

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部 土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 窪田彰 (主幹兼治水係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4437)
------	--------------------	---------------------	------------------------------	----	----------------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	4.7億円
		(二)赤根川水系 赤根川 県単独河川改良事業	明石市大久保町 大窪・西脇	内用地補償費	1.7億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
明石市大久保町大窪・西脇			H 1 9	H 1 9	H 2 3
事業目的			事業内容		
<p>当該地域は明石市の中央付近に位置し、国道2号、JR山陽本線などの主要幹線が位置する人家、商業施設密集地である。また当該区間の両側には大手企業が立地しており、浸水被害が発生した場合、その経済的被害は甚大なものが想定される。平成16年10月の台風23号では浸水被害は免れたが、河川断面は狭く、浸水被害を受ける恐れが高いた地域である。当事業では企業から用地の無償提供を受けて河積を広げ、流水断面の確保を行う。</p>			<p>計画流量 60m³/s 治水安全度 1/30 実施内容 L=727m 掘削：6,000m³ 護岸(右岸Br)：2,600m² (左岸石積)：700m² 落差工：1基 橋梁：1基</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>当該地域は明石市中部の中核的な区域であり、国道2号、JR山陽本線など重要幹線が通り、人家や商業施設、大手企業などが密集している区域である。 当該区域で一度浸水被害が発生した場合は、交通網の混乱はもとより、工場などが浸水することから経済的損失は多大なものになることが想定される。 平成16年10月の台風23号では、水防活動による土のう積や地元水利組合の協力により、上流の八十島池の事前放流によるため池の洪水調節により溢水被害は免れた。 しかしながら、河川断面は非常に狭く(現況流下能力約17m³/s)、浸水被害が発生する可能性は極めて高く、抜本的な改修が必要である。</p>				
(2)有効性・効率性	B / C = 7 2 . 0				
(3)環境適合性	<p>当該区間は大部分が企業地内であるが、河川沿いは工場緑地になっており緑があふれている。施工に当たっては、川沿いにある樹木を出来る限り保全するとともに、支障となり伐採する樹木については、工事後新たに苗木を植栽する等復元に努める。</p>				
(4)優先性	<p>当該区間は、河川断面が非常に狭く浸水被害が発生する可能性が極めて高いことから、地元から事業化への要望が強く、沿川企業も用地の無償提供に応じるなど協力体制も整っているため円滑な事業執行が可能である。 また、当該区域上流の西脇土地区画整理事業(H13~H23)に伴う下水道(雨水)整備との連携を図る必要があることから、事業の優先性は高い。</p>				